



平成 26 年 1 月 23 日 (木)

四国地方整備局松山河川国道事務所

まつやまそとかんじょうどうろ いど ふるかわ
**松山外環状道路インター線 (井門IC~古川IC) が
3月16日 (日曜日) に開通します。
~松山市内の渋滞解消に向けた、第一歩が始まります~**

国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所・愛媛県・松山市が協同で整備を進めている松山外環状道路インター線(以下、外環インター線という。延長 4.8km)のうち、井門IC~古川IC間の自動車専用道路(延長 1.2km)を**3月16日(日)に開通**いたします。

① 今回区間(井門IC~古川IC)の開通による主な整備効果

- ・古川IC方面から四国内で最も利用交通量の多い松山ICに直接乗り入れが可能となり、**利便性が向上**します。

② 外環インター線全線(井門IC~余戸南IC)の開通(平成28年度予定)による主な整備効果

- ・平成29年度に開催される**えひめ国体の会場である松山中央公園と松山IC間の所要時間が約10分短縮**され、愛媛国体への支援が期待されます。

③ 外環全線(井門IC~松山空港IC(仮称))の開通による主な整備効果

- ・外環全線*が開通することで、**松山ICから松山空港及び松山港間の所要時間が約20分短縮**され、**交通拠点間のアクセス性が向上**します。
- ・交通の分散により**松山市内の渋滞緩和**が期待されます。
- ・松山港や企業・集積エリアへの**物資の円滑な輸送**が期待されます。

※外環全線とは、外環インター線と外環空港線をいう。

1. 開通日 平成 26 年 3 月 16 日(日)

2. 開通区間 自 : 井門IC(愛媛県松山市北井門2丁目)

至 : 古川IC(愛媛県松山市井門町)

3. 開通延長 1.2km

※開通式典・開通時間等の詳細な内容については、後日お知らせします。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「No.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

お問い合わせ先 (主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 電話 089-972-0034 (代表)

副所長 沖上 茂人 (内線205)

工務第二課長 神前 巖 (内線411)

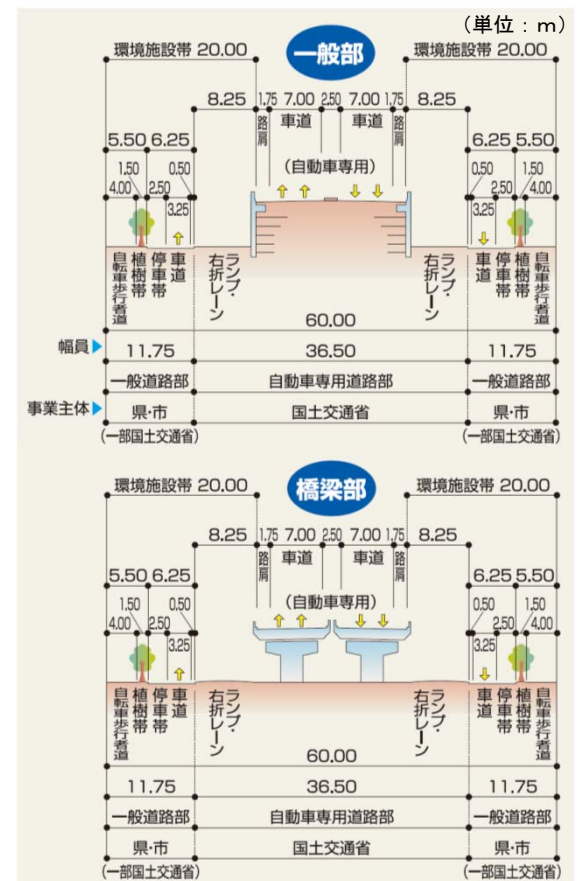
1. 松山外環状道路（外環インター線）の概要

- ◆松山外環状道路（以下、外環）は、松山IC・松山空港・松山港等の地域の交通拠点間のアクセス性向上、市内中心部へ流入する交通の分散を目的とした地域高規格道路で、国・愛媛県・松山市が協同で整備を進めています。
- ◆今回は、「外環インター線（延長4.8km）」の内、井門ICから古川IC（延長1.2km）の区間の開通です。
- ◆1年後（平成26年度）の部分開通、3年後（平成28年度）の外環インター線全線開通に向けて、現在、着々と工事を進めています。

「外環インター線」今後の開通予定



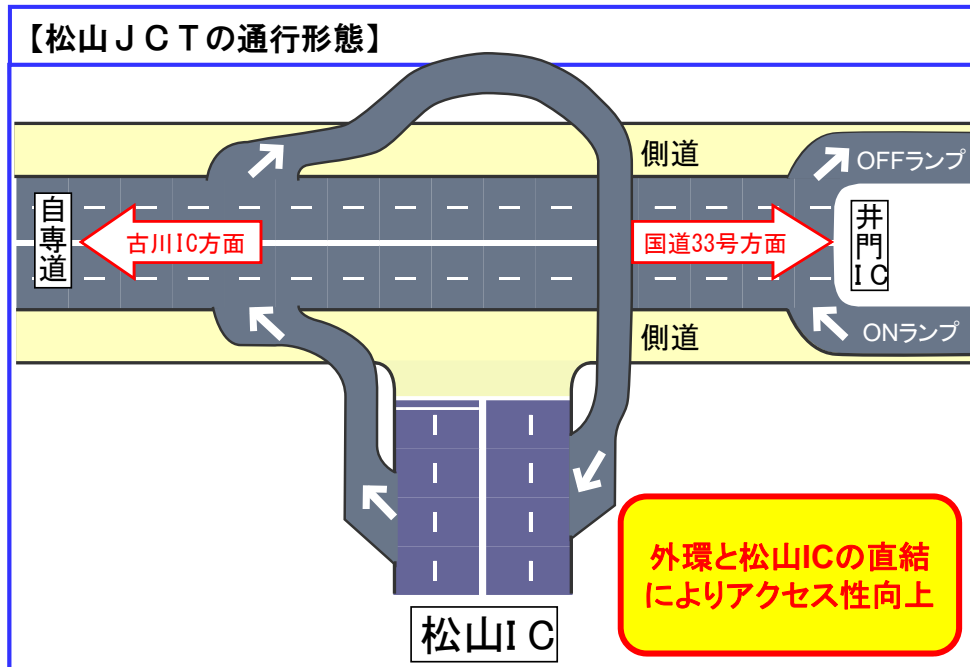
「外環インター線」の標準横断面図



2. 今回区間の開通で・・・効果①：松山IC利用者の利便性向上

◆松山JCTでは、古川IC方面（西側）から外環の自動車専用道路部を使って、**四国内で利用交通量が最も多い松山ICに直接乗り入れが可能となり、松山ICへのアクセスルートが増え、利便性が向上します。**

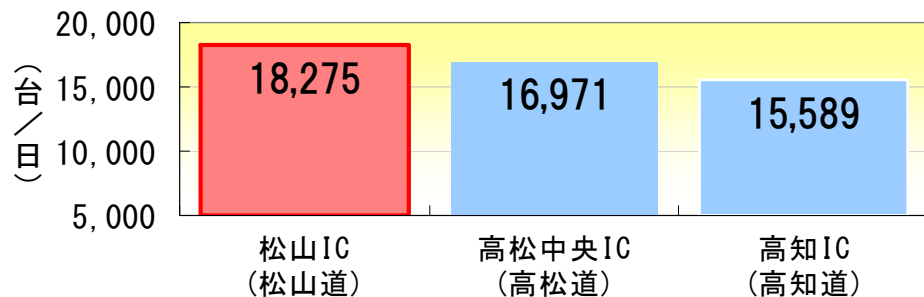
今回の自動車専用道路部の供用



松山ICへのアクセスルートが増えます



【利用交通量が四国で一番多い松山インターチェンジ】

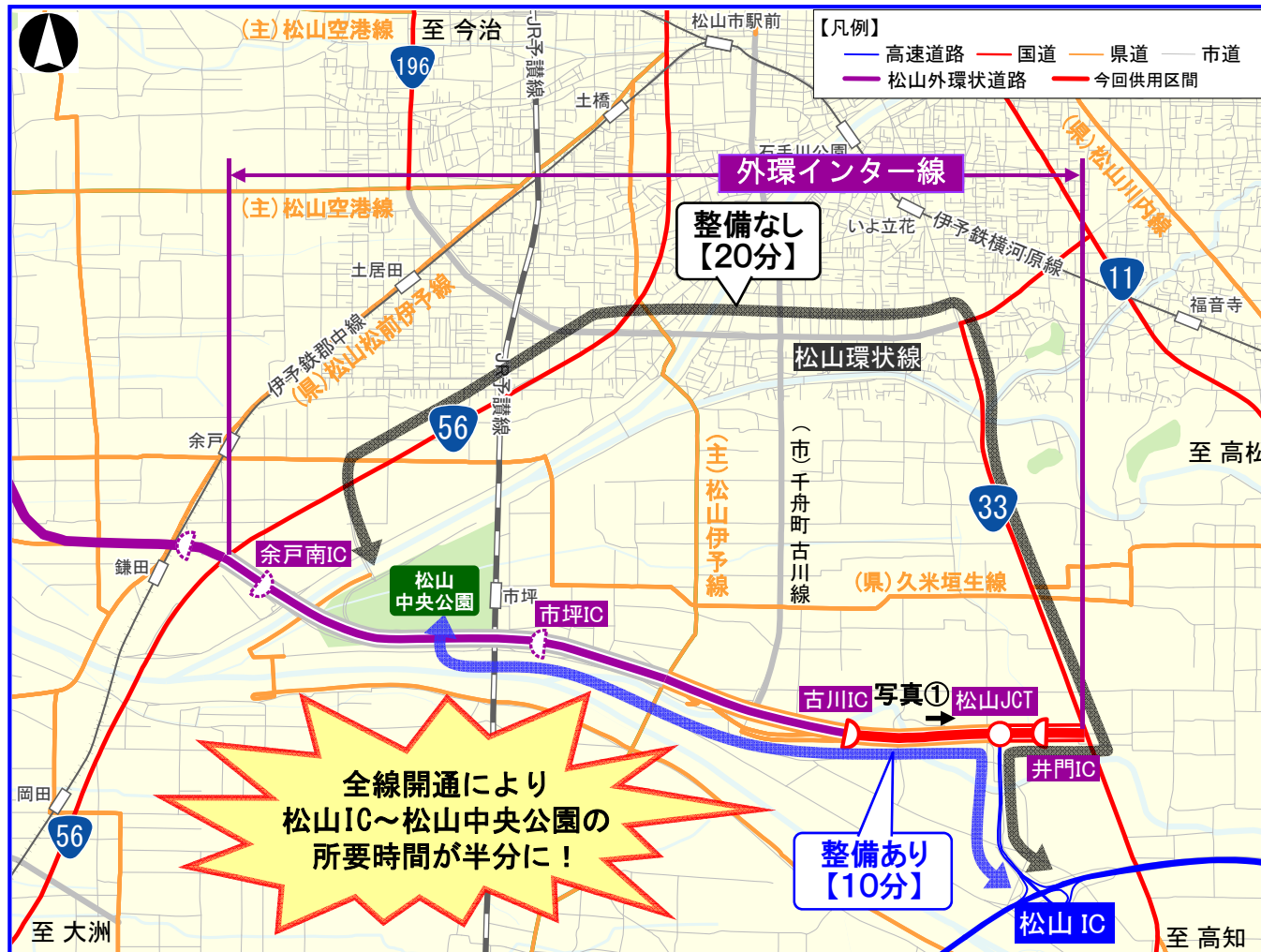


資料) 高速道路と自動車2014.1 (H25年10月データ)

3. 外環インター線が開通すると・・・効果②：えひめ国体会場へのアクセス向上

◆松山ICと直結されることにより、えひめ国体(H29年9月開催予定)で高等学校野球やテニスなど複数の競技が行われる松山中央公園と松山IC間の所要時間が約10分短縮されます。

松山ICと松山中央公園へのアクセス向上



【松山中央公園で実施される競技】

競技名
高等学校野球
テニス
水泳(競泳、水球、シンクロ)
自転車(トラック)
柔道
剣道

【整備が進む外環インター線】

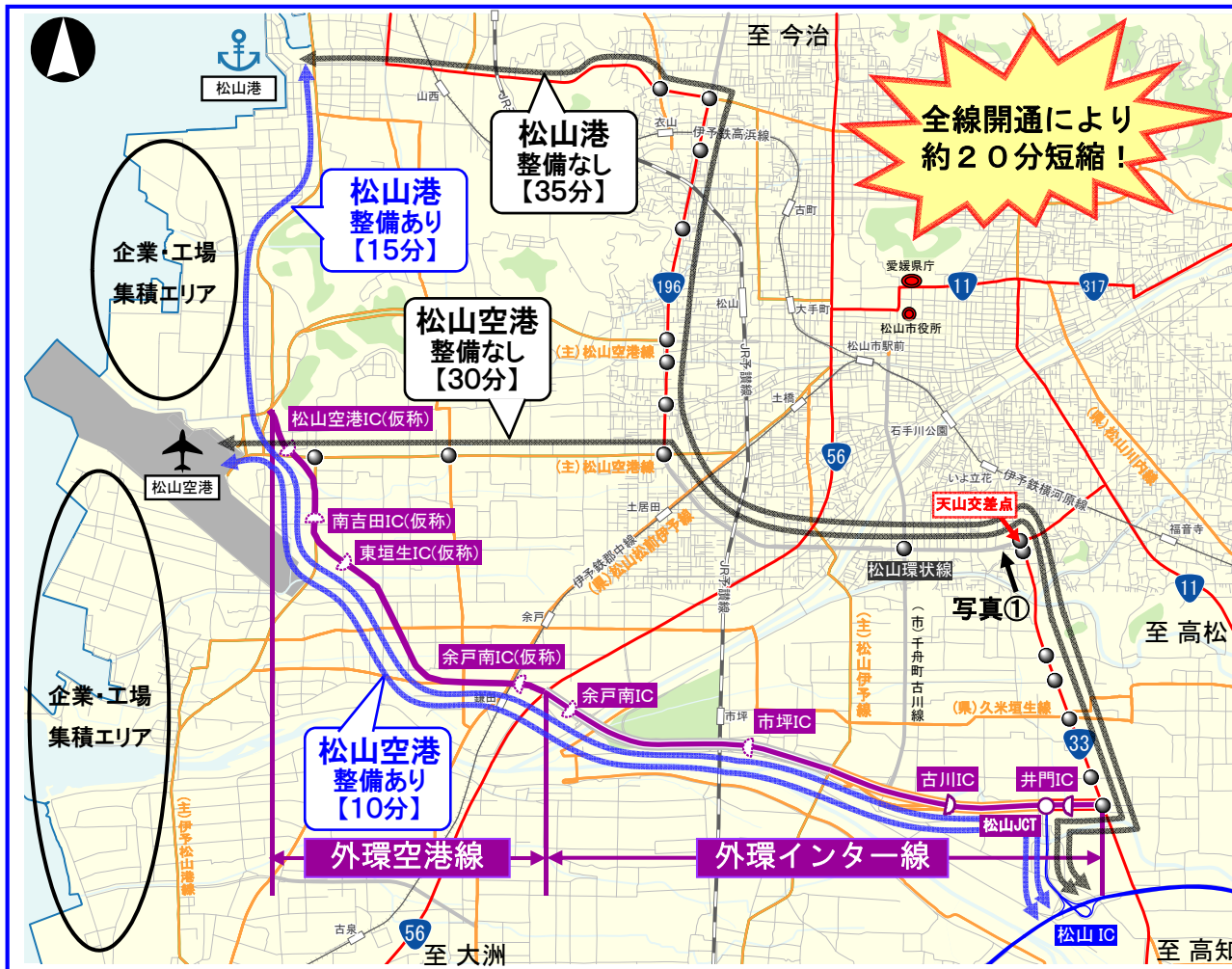


所要時間：「整備なし」は、H22センサス混雑時旅行速度を基に算出。(整備なしルートは、幹線道路を利用した一般的なルート)
 「整備あり」は、自動車専用道路区間を[時速60km]、側道区間を[時速40km]と仮定し算出。(整備ありルートは、『松山IC～古川IC～側道部～松山中央公園』)

4. 外環が全線開通すると・・・効果③：交通拠点間のアクセス向上と市内の渋滞緩和

- ◆現在混雑している市街地を通過せずに松山ICから松山空港や松山港に移動できることから所要時間が約20分短縮され交通拠点間のアクセス性が向上します。
- ◆交通の分散により国道33号など並行する路線の交通量が減少し、県内有数の主要渋滞箇所である天山交差点の渋滞緩和など松山市内の渋滞が改善されます。
- ◆松山港や企業・工場集積エリアへの物資の円滑な輸送が期待されます。

市内中心部の走行環境の改善



【渋滞の著しい
国道33号天山交差点の混雑状況】
写真①天山交差点(北向き)



【凡例】

- 高速道路 — 国道 — 県道 — 市道
- 松山外環状道路

● 主要渋滞箇所 (資料) 愛媛県渋滞対策協議会資料
※主要渋滞箇所は、整備なしルート上のみ図示

所要時間：

「整備なし」は、H22センサス混雑時旅行速度を基に算出。

(整備なしルートは、幹線道路を利用した一般的なルート)

「整備あり」は、[時速60km/h]と仮定し算出。その他区間は、H22センサス混雑時旅行速度を基に算出。

(整備ありは『松山IC～松山空港IC(仮称)～松山空港』)

(整備ありは『松山IC～松山空港IC(仮称)～松山港』)